

## ＜令和6年度主要事業＞

令和6年度の最重要課題である「人口対策」をはじめ、本市の持続力向上につながる6つのまちづくりの視点から分類した主な事業は、次のとおりです。

【◎＝新規 ☆＝拡大 （括弧内の金額は予算現額）】

### 1 人口対策

#### (1) 安心して子育てできる環境づくり

- ☆① 医療扶助費（こども・市の単独分） 146,635千円(146,786千円)  
医療扶助費（ひとり親家庭等・市単独分） 15,550千円(16,437千円)  
医療扶助費（重度・市の単独分） 537千円(679千円)
  - ・北海道による医療費助成に上乘せして市の独自助成を実施
  - ・8月診療分から助成対象を大幅に拡大し、高校生年代までの入院・通院医療費を実質無償化
- ② 学校給食費保護者負担軽減事業費 75,000千円(75,000千円)
  - ・物価高騰により値上げが必要となる学校給食費について、令和6年度の値上げ相当額の全額を補助するとともに、2か月分無償化（給食未配食世帯へは相当額を助成）
- ◎③ 放課後児童クラブの利用手数料の無償化
  - ・子育て世帯の家計負担の軽減のため、放課後児童クラブの利用手数料（児童1人当たり月額4,000円、2人以上の場合月額6,000円）を無償化
- ◎④ 先進不妊治療費等助成事業費 279千円(4,282千円)
  - ・子どもを持ちたいと願う方が安全・安心な不妊治療を受けられるよう、保険診療と併用して行われる先進医療に要する医療費や交通費の一部を助成

- ⑤ 出産・子育て応援事業費 36,711千円(42,342千円)
  - ・妊娠期から出産・子育てまで一貫した伴走型相談支援の充実を図るとともに、経済的支援として給付金を支給
- ◎⑥ 妊婦歯科健康診査事業費 348千円(348千円)
  - ・歯周病等の予防により早産や低出生体重児のリスクを低減し、母体と胎児の健康を保つため、健診費用（1回分）を全額助成
- ⑦ 周産期医療支援事業費補助金 25,000千円(25,000千円)
  - ・市内唯一の分娩取扱い病院となった小樽協会病院に対する支援により、安定的な周産期医療体制を維持
- ◎⑧ 重層的支援体制整備事業費（こども家庭センター運営事業費）
  - 母子保健対策費 1,309千円(1,557千円)
  - 児童福祉総務費 118千円(121千円)
  - ・母子保健と児童福祉に関する相談の中核拠点としてこども家庭センターを設置し、全ての妊産婦と子ども、保護者への一体的な相談支援を実施
- ⑨ 民間保育施設等整備支援事業費補助金 299,626千円(299,626千円)
  - ・小樽幼稚園が行う、園舎建替え費用の一部を補助
- ⑩ 私立保育所等ICT化推進事業費補助金 915千円(3,450千円)
  - ・保育士の業務負担軽減を目的に、私立保育所等のICT整備に対し補助
- ⑪ 保育士等就労定着支援事業費補助金 1,843千円(4,050千円)
  - ・保育士等の人材を確保するため、新規に就労した保育士等に対し一時金を支給（採用時10万円、3年目20万円、6年目30万円 合計60万円）

- ⑫ 都市公園安全・安心事業費 29,593千円(40,400千円)  
 ・公園施設長寿命化計画に基づき、老朽化した公園遊具や施設を地域住民のニーズを踏まえて更新  
 令和6年度 ほしの丘の上公園（星野町） らいらっく公園（桂岡町）  
 ベイビュータウン中央公園（新光町）
- ⑬ 総合公園再整備事業費（小樽公園） 19,914千円(20,500千円)  
 ・親子で集える遊び場を整備し、子育て環境を充実させるため、小樽公園の再整備に当たり実施設計、費用対効果分析を実施
- ◎⑭ 旧色内小学校跡地広場整備事業費 94,007千円(100,500千円)  
 ・道営住宅及び集会所に隣接する敷地に、地域住民等が集える広場として、遊具やトイレ、駐車場などを整備
- ◎⑮ W i - F i 設備整備事業費（放課後児童クラブ） 3,003千円(3,751千円)  
 ・小学校の校内ネットワークに接続できない放課後児童クラブ（稲穂・山の手・朝里）について、タブレット端末を使用した学習に対応できるようアクセスポイントを増設
- ☆⑯ 子どもの学習・生活支援事業費（児童福祉費計上分） 5,775千円(5,789千円)  
 子どもの学習・生活支援事業費（社会福祉費計上分） 631千円(644千円)  
 ・ひとり親家庭、生活保護世帯、生活困窮世帯の中学生・高校生を対象として、学習の支援や困りごと相談に応じるなど生活支援を実施  
 ・令和6年度から高校生の受入れを本格実施
- ☆⑰ 部活動改革推進事業費 4,261千円(7,017千円)  
 ・合同部活動（拠点校方式）における生徒の移動を支援  
 ・令和6年度は、対象とする部活動を拡大

- ⑱ トイレ改修事業費（小学校） 123,340千円(177,900千円)  
 ・校舎、屋内運動場トイレの洋式化等改修  
 令和6年度 望洋台小、張碓小
- ◎⑲ 歯・口腔の健康づくり推進事業費 3,615千円(3,700千円)  
 ・市内全小学校の児童を対象に、定期的なフッ化物洗口を令和6年度2学期より実施  
 ・週1回の洗口に必要な洗口液等の物品を購入し、各学校へ配布
- ☆⑳ 校務支援システム関係経費 13,018千円(13,019千円)  
 <小学校7,624千円(7,625千円)、中学校5,394千円(5,394千円)>  
 ・市内全小中学校で、校務支援システムを使用するとともに、校務支援システムと連動し、オンラインで欠席連絡や保護者向け文書の送信を行える保護者用連絡ツールを導入

## (2) 事業・就業への支援

- ㉑ 創業支援事業費 8,595千円(14,600千円)  
 ・一定の要件に該当する新規創業者に対し、事務所等の賃貸料や内外装工事に関する費用を補助
- ㉒ 事業承継支援事業費 427千円(810千円)  
 ・後継者不足による廃業を抑制するため、事業承継に関するセミナーや個別訪問による意識啓発や支援制度の周知を実施

- ⑳ 若者就職マッチング支援事業費 1,540千円(2,000千円)
- ・高校生や大学生などの若者の就職率向上と地元定着を目的として、企業見学ツアーや企業出前説明会を実施
  - ・令和6年度は、事業の認知度を高めるためのSNS広告や、札幌圏へ通学している市内学生へのアプローチ強化のため、札幌圏の大学等への周知を実施

### (3) 移住の促進

- ㉑ 地域魅力発信事業費 4,400千円(4,400千円)
- ・FMラジオの事業者と連携し、「移住促進」と「関係人口の創出」を図るため移住と絡めた小樽市の魅力発信事業を展開
- ㉒ 人口戦略推進事業費 9,150千円(11,600千円)
- ・移住者を定住に結びつけるための移住者ミーティングの実施、小樽商工会議所内に開設した「移住・起業サポートセンター」の運営、市内の発達支援事業所や宿泊施設などと連携した親子ワーケーションの実施、小樽に滞在し働きながら地域の暮らしを体感してもらう移住体験事業の実施
- ㉓ 移住促進事業経費 697千円(712千円)
- ・移住情報サイト「笑(え)になるおたる」などにより、移住希望者に対して情報を発信
- ㉔ 移住支援事業費 5,000千円(11,200千円)
- ・北海道との共同事業により、東京圏から移住し、就業の要件(対象となる中小企業等へ就職、専門人材、起業、テレワーク)に該当する場合に支援金を支給

- ㉕ 移住・定住促進住宅取得費等補助金 1,300千円(2,000千円)
- ・小樽市に転入し、すでに小樽市内に2年以上居住する世帯と三世代で同居・近居する場合に、中古住宅の購入や増改築等に要する費用の一部を補助

## 2 次世代を見据えたまちづくり

- ① 行政手続オンライン化経費 3,095千円(3,097千円)
- ・市民の利便性向上と業務効率化を図るための行政手続きや各種アンケート調査をオンライン化
- ☆② 窓口キャッシュレス決済導入事業費 1,196千円(1,732千円)
- ・窓口での証明書発行手数料や入館料等の支払いについて、キャッシュレス決済可能な窓口を拡大(文学館・美術館・総合体育館)
  - ※市民税課、戸籍住民課、サービスセンター(駅前、銭函、塩谷)及び総合博物館(本館、運河館)は導入済
- ◎③ 公開型GIS構築事業費 9,777千円(10,185千円)
- ・市民や事業者が、市役所に出向くことなく都市計画関連情報などを取得できるよう、市が保有するデータをインターネット上で公開
- ④ 庁内会議ペーパーレス化推進事業費 2,750千円(2,794千円)
- ・会議資料等を電子化し、コスト削減や業務効率化を図るためのペーパーレス会議システムを整備
- ⑤ AI・RPA関係経費 7,766千円(8,822千円)
- ・データ入力等の単純作業を縮減し業務の効率化を図るため、RPAやAI-OCRなどを活用

- ⑥ ビッグデータ活用事業費 990千円(990千円)
- ・民間企業に蓄積されたデータを活用し、各部署で施策の実施や成果を分析
- ◎⑦ 観光入込調査デジタル技術活用事業費 2,640千円(2,640千円)
- ・GPS人流データを用いた小樽への来訪者数等のデータを取得し、観光戦略の企画立案や各課題における効果的な施策検討に資する調査を実施
- ☆⑧ デジタル外部人材関係経費 16,096千円(17,169千円)
- ・民間の知見を活かして本市のDXを推進するため、外部人材を招へい
  - ・これまでの庁内DX推進担当に加え、導入済デジタルツールの更なる利活用支援について、専門的な知見からアドバイスを得るため、令和6年度は情報システム活用担当を招へい
- ◎⑨ ゼロカーボン推進事業費 7,250千円(7,253千円)
- ・市民・事業者・行政が一体となって脱炭素社会の実現に向けた取組を推進するため、市民に向けたリーフレット配布や省エネ推進イベント等を開催
  - ・省エネ行動の意識啓発や定着化を図るため、事業者向けの省エネ診断支援等を実施
- ◎⑩ 電動車導入事業費 4,751千円(4,752千円)
- ・公用車における脱炭素化の推進を図るとともに、災害時の給電支援に利用するため、電動車1台を導入
- ☆⑪ 住宅エコリフォーム助成事業費 4,463千円(8,550千円)
- ・市民の住環境向上と、市内における環境負荷の低減を図るため、市内住宅の断熱改修や省エネ型設備機器などの省エネ改修にかかる費用の一部を助成
  - ・令和6年度は、対象設備の一部拡充や子育て世帯等の一定条件を満たした場合の上限額上乗せを実施し、所得制限等を撤廃
- ⑫ 観光船ターミナル整備事業費 452,700千円(466,100千円)
- ・小型船だまりの整備と一体となった観光船ターミナルを整備
  - ・脱炭素化の推進のため、ZEB Ready仕様(高断熱設備及び高効率な省エネルギー設備を備えたもの)を採用するとともに太陽光発電設備を設置  
令和6年度 34号上屋解体、ターミナル建築・電気設備・機械設備工事
- ⑬ 新小樽(仮称)駅周辺駐車場等整備関係事業費 23,364千円(57,221千円)  
(予算現額のうち30,239千円は令和7年度へ繰越)
- ・新小樽(仮称)駅周辺のまちづくりを進めることを目的として、市が主体となって整備する施設等に関する設計・検討や調査を実施
  - ・令和6年度は、駐車場連絡通路の検討及び概略設計や、平面駐車場整備のための地質調査等を実施
- ⑭ 北海道新幹線活用小樽まちづくり協議会関係経費 199千円(250千円)
- ・新小樽(仮称)駅の開業を見据え、その効果を最大限に活用した魅力あるまちづくりを進めるための協議会を開催
- ⑮ 森林環境整備事業費 7,182千円(7,200千円)
- ・未整備森林所有者の管理意向調査と森林の公益的機能の普及啓発を促進
  - ・管理意向調査(塩谷3、4丁目)を実施
  - ・旭展望台周辺環境整備(眺望改善の間伐・剪定、大型看板・標識・ベンチ等老朽施設の更新、通路・遊歩道の危険木等の処理)
- ◎⑯ 民有林等活性化推進事業費補助金 547千円(3,568千円)
- ・未整備森林の適切な管理を推進するため、森林経営管理制度に基づいて民有林の経営管理の再委託を受けた林業経営者等が行う森林整備費用を助成
  - ・植樹活動など森林の機能や重要性に関する普及啓発活動を行う団体に対し補助

- ⑰ ふるさと納税関係経費 416,749千円(585,889千円)
  - ・「ふるさと納税」制度による寄附者への返礼品として地場産品を贈呈し、継続的な返礼品の増強・磨き上げ及びプロモーションを展開
  
- ⑱ 企業版ふるさと納税関係経費 1,474千円(2,200千円)
  - ・「企業版ふるさと納税」制度による寄附を促進するため、企業版ふるさと納税サイトへの掲載を実施
  
- ◎⑲ 公共施設等再編関連予算 910,000千円(918,749千円)
  - ・保健所やこども家庭センター等の行政機能のほか関連機関等をウイングベイ小樽に移転し、公共施設等の再編を実施
    - ◇公共施設等再編経費 748,091千円(749,440千円)
    - ◇こども家庭課移転等経費 2,104千円(2,563千円)
    - ◇総合福祉センター移転等経費 12,484千円(14,359千円)
    - ◇保健所移転等経費 8,984千円(11,400千円)
    - ◇新検査室整備事業費 130,894千円(133,506千円)
    - ◇新歯科診察室備品整備事業費 2,981千円(2,981千円)
    - ◇勤労女性センター移転等経費 4,462千円(4,500千円)
  
- ⑳ 市民会館大規模改修事業費(舞台設備改修等) 73,436千円(74,559千円)
  - ・小樽市公共施設長寿命化計画に基づき、令和13年度以降の第2期での建替えを見据えた機能保全のための設備改修を実施
    - 令和6年度 照明操作卓等改修、高圧引込ケーブル改修
  
- ◎㉑ 新総合体育館整備事業費 364千円(650千円)
  - 新総合体育館整備事業費(アスベスト含有量調査費) 980千円(2,465千円)
  - 新総合体育館整備事業費(整備事業者選定事業費) 27,944千円(30,000千円)
  - ・新総合体育館の設計・建設等を担う事業者の選定や、現総合体育館の解体費用精査に向けたアスベスト含有量調査を実施

- ◎㉒ 手宮公園競技場整備事業費 9,996千円(10,000千円)
  - 手宮公園競技場整備事業費(トラック等改修) 7,194千円(7,295千円)
  - ・日本陸上競技連盟の第3種公認陸上競技場の公認継続に向けて、必要となる備品(競技用ハードル等)の整備
  - ・トラック等の競技場改修に伴う測量設計を実施

### 3 魅力を活かしたまちづくり

- ① 歴史的風致維持向上計画推進経費 2,600千円(3,062千円)
  - ・国の支援制度を活用し、歴史を活かしたまちづくりを推進するため、歴史まちづくり法に基づく小樽市歴史的風致維持向上計画を策定
  
- ② 日本遺産推進協議会補助金 3,000千円(3,000千円)
  - ・令和6年度の日本遺産認定を目指す「北海道の『心臓』と呼ばれたまち・小樽～「民の力」で創られ蘇った北の商都～」の事業主体である小樽市日本遺産推進協議会への補助
  
- ③ 日本遺産地域活性化事業費 282千円(282千円)
  - ・日本遺産「北前船寄港地・船主集落」、「炭鉄港」のストーリー及び構成文化財を活用し、シビックプライドの醸成と観光誘客につなげるため、日本遺産連盟が主催する日本遺産フェスティバルへ参加
  
- ◎④ 重要文化財旧日本郵船(株)小樽支店保存修理工事費 189,808千円(265,919千円)
  - 重要文化財旧日本郵船(株)小樽支店駐車場整備事業費 30,617千円(32,196千円)
  - 展示改修事業費 19,170千円(20,000千円)
  - ・本市を代表する重要文化財である建造物の保存・活用を図るための耐震補強工事及び保存修理を実施し、令和6年度は保存修理工事後のリニューアルオープンに向けた展示造作の整備、駐車場整備等を併せて実施

- ◎⑤ 電気機関車展示施設整備事業費 23,783千円(23,933千円)
- ・PCB処理のための解体後に部分保存を行った電気機関車2両（ED75およびED76）について、展示公開に向けて整備
  - ・令和6年度は、ED76の前頭部の展示施設整備、デジタルコンテンツの制作等を実施
- ⑥ 観光物産プラザ施設維持補修費 40,499千円(40,501千円)
- ・民間事業者を対象とした貸付により観光物産プラザの新たな活用を図るため、貸付を行うに当たり安全の確保に必要な維持補修を実施
- ◎⑦ 公会堂屋根改修事業費(債務負担分) 113,366千円(137,048千円)
- ・歴史的建造物に指定している公会堂の老朽化が著しい屋根の全面改修を実施
- ⑧ 基部緑地整備事業費 22,126千円(25,400千円)
- ・賑わいや魅力づくりを目的に、市民や観光客等が集うことができる空間として第3号ふ頭基部を緑地として整備  
令和6年度 護岸改良等
- ⑨ 小型船だまり整備事業費 383,702千円(391,480千円)
- (うち152,074千円(153,080千円)は令和5年度から繰越)
- ・第3号ふ頭及び周辺再開発事業として、小樽港で運航している観光船の発着場を第3号ふ頭基部に集約するための係留施設を整備  
令和6年度 物揚場整備（L=50.0m）、栈橋整備（L=25.0m）
- ⑩ 水産物ブランド化推進事業費 1,812千円(2,520千円)
- ・小樽おさかな普及推進委員会のホームページによるPRや、小樽水産加工品ブランド推進委員会の「小樽水産加工グランプリ」の開催による小樽の地魚や加工品のブランド化、販路拡大を支援
  - ・令和6年度は3年に一度開催するグランプリを実施

- ⑪ 海外販路拡大支援事業費 1,111千円(2,950千円)
- ・海外販路の拡大を目指す市内企業等に対し、商談会、展示会等への出展や現地企業との商談を支援
- ⑫ 小樽産品販路拡大強化支援事業費 7,252千円(7,321千円)
- ・小樽産品の販路拡大により、事業者のステップアップを図るため、関東・関西・新潟での商談会への出展やお取り寄せチラシによる販売、商品開発を支援
- ◎⑬ 旧第3倉庫100周年記念事業費 2,407千円(2,555千円)
- ・建設から100周年を迎える旧第3倉庫の記念事業を実施するNPO法人への補助や、記念フォーラムを開催

#### 4 活力を生み出すまちづくり

- ① サテライトオフィス誘致事業費 3,500千円(3,520千円)
- ・デジタル関連企業等のサテライトオフィス誘致を推進するため、専門的な知見を有する事業者へ委託し、令和6年度は誘致戦略に基づく企業とのマッチングやニーズヒアリング等を実施
- ② 立地環境視察費用補助金 69千円(1,000千円)
- ・IT関連企業や製造事業者等に対し、サテライトオフィス等の開設を検討するための視察に要する費用の一部を補助
- ③ 企業誘致促進事業費 4,025千円(4,350千円)
- ・企業誘致に向けた産業展等への出展や、企業への訪問活動、パンフレット等PRツールの作成
  - ・令和6年度は、全国規模で行われる国内企業に対するアンケート調査に参画

- ④ 小樽港クルーズ推進事業費 13,527千円(14,852千円)
- ・官民協働の「小樽港クルーズ推進協議会」によるクルーズ船の誘致活動や受入体制の強化
  - ・令和6年度は、市内の観光関連事業者等を対象に、クルーズ船についての理解を深めることを目的としたセミナーを実施
- ⑤ 環日本海クルーズ推進事業費 1,109千円(1,336千円)
- ・日本海側クルーズの寄港促進とブランド化を図るため、小樽港、秋田県3港、伏木富山港、京都舞鶴港、境港の5地域の共同でクルーズ船の誘致活動を実施
- ⑥ 小樽港物流促進プロジェクト事業費 1,431千円(2,800千円)
- ・小樽港の物流促進のため、海外コンテナ航路の活用に向けたポートセールスや、定期フェリーの利用促進事業を実施
  - ・令和6年度は、小樽市民限定の割安な小樽港発旅行商品を企画販売したほか、小学生親子を対象としたフェリー船内見学を実施
- ⑦ 観光誘致促進事業費補助金 9,930千円(10,571千円)
- ・一般社団法人小樽観光協会が実施する観光誘致促進の取組に対する補助
  - ・夜の観光振興のためのナイトインフォメーションの取組や、冬季閑散期対策を目的としたイベントを引き続き実施
- ⑧ 外国人観光客誘致広域連携事業費補助金 5,100千円(5,100千円)
- ・行政と経済団体の連携により、世界に小樽観光の魅力を発信し、訪日外国人観光客の誘致を推進
  - ・令和6年度は、ツアーを企画する旅行代理店に必要な情報やサービスを手配するランドオペレーターを招へい

- ⑨ 教育旅行誘致促進事業費 4,646千円(10,091千円)
- ・教育旅行誘致のため、市からの販売計画（道外高校、小樽市内1泊以上）の承認を受けた旅行会社に対し、宿泊実績に応じて補助
- ⑩ おもてなし推進事業費 3,476千円(3,518千円)
- ・観光事業者や市民の全市民的なホスピタリティの向上を図るため、アドバイザーを招へいし、一般社団法人小樽観光協会が取り組む「小樽おもてなし認証制度」を支援

## 5 安全・安心なまちづくり

- ① 救急業務高度化推進事業費 一千円(40,051千円)
- (予算現額の全額を令和7年度へ繰越)
- ・高規格救急自動車1台及び高度救命処置用資機材の更新
- ② 消防・防災施設整備費 一千円(15,048千円)
- (予算現額の全額を令和7年度へ繰越)
- ・消防団の強化を目的として、小型動力ポンプ付積載車1台を整備
- ◎③ 後志共同消防指令センター整備事業費(債務負担分) 27,830千円(28,000千円)
- ・後志管内消防指令業務の共同化に伴い、後志管内3消防本部（小樽市、岩内・寿都地方消防組合及び北後志消防組合）が消防指令センターを共同で整備
- ☆④ 防災関係経費(避難支援事業) 7,130千円(7,536千円)
- ・土砂災害警戒区域等の大幅な指定増に伴い、同区域のほか、津波・洪水の浸水想定区域を表示して情報を更新し、見やすくした防災マップを作成
  - ・避難行動要支援者（高齢・障害等の理由により自力での避難が困難な方）の個別避難計画を作成

|  |  |
|--|--|
| <p>⑤ 除雪費 1,965,039千円(2,054,429千円)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・冬期間における円滑な道路交通を確保し、市民の快適な冬の暮らしや経済活動を支えるため、バス路線及び主要通学路を優先した、計画的で効率的な除排雪を実施</li> </ul>   | <p>⑪ 空調設備整備事業費 851,643千円(1,045,788千円)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・暑さ対策として各市有施設に冷房設備を整備</li> </ul>  |
| <p>⑥ ロードヒーティング更新事業費 50,424千円(145,053千円)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・老朽化したロードヒーティング施設を計画的に更新</li> </ul> <p>令和6年度 桜5号線、上赤岩旧道線、水産学校裏通線</p>  | <p>◇市役所本庁舎（別館） 51,269千円(53,997千円)</p> <p>(うち、49,687千円(52,415千円)は令和5年度から繰越)</p> <p>◇いなきた児童館、とみおか児童館、塩谷児童センター 1,525千円(1,525千円)</p> <p>◇放課後児童クラブ 71千円(71千円)</p> <p>◇こども発達支援センター 431千円(468千円)</p> <p>◇消防署（銭函支署） 11,352千円(11,588千円)</p> <p>◇教育支援センター 1,450千円(1,730千円)</p> <p>◇小学校 543,967千円(658,798千円)</p> <p>(令和5年度から繰越)</p> <p>◇中学校 226,773千円(299,703千円)</p> <p>(令和5年度から繰越)</p> <p>◇図書館 14,805千円(17,908千円)</p> <p>(令和5年度から繰越)</p> |
| <p>⑦ 建設機械整備費 173,030千円(191,000千円)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・安定的な除排雪体制確保のため、市所有の除排雪機械を計画的に更新・増強し、除排雪業務受託者に貸与</li> </ul> <p>令和6年度 大型ロータリ除雪車2台更新、小型ロータリ除雪車1台更新、凍結防止剤散布車1台増強</p>   | <p>◎⑫ 代筆・代読支援員派遣（地域生活支援事業費） 155千円(1,757千円)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・視覚障害者の情報取得やコミュニケーションを容易にするため、障害福祉サービスを行う事業所に委託し、障害者の自宅等に代筆・代読支援員を派遣</li> </ul>  |
| <p>◎⑧ 保育所等熱中症対策支援事業費補助金 7,786千円(12,348千円)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもの熱中症などの健康リスクの低減を目的とした、市内の私立保育所等の冷房設備整備に対する補助</li> </ul> <p>◎⑨ 医療的ケア児保育支援事業費 3,202千円(4,473千円)</p> <p>医療的ケア児教育支援事業費（小学校） 920千円(920千円)</p> <p>医療的ケア児等総合支援事業費 471千円(4,239千円)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・日常生活を営むために医療的ケアを要する状態にある幼児・児童に対し、小学校や保育所等の利用を支援するため、看護師等を派遣</li> </ul> | <p>⑬ 夜間急病センター管理代行業務費（債務負担分） 226,397千円(226,397千円)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・本市の一次救急医療の拠点としての役割を果たしている夜間急病センターを指定管理者に委託</li> </ul>   |
| <p>◎⑩ ひとり親家庭等養育費確保支援事業費 171千円(600千円)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・離婚に伴う子どもの養育費の確実な受取につなげるため、公正証書の作成や、家庭裁判所の調停申立に必要な費用を補助</li> </ul>   | <p>⑭ 予防接種事故後遺症障害年金 25,938千円(25,947千円)</p> <p>予防接種健康被害救済費 8,920千円(9,008千円)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・新型コロナウイルスワクチンの臨時接種等を受け、予防接種健康被害救済制度を申請し、予防接種法に基づき認定を受けた方に障害年金等を給付</li> </ul>   |

## 6 暮らしを支えるまちづくり

☆① 歯科保健事業費 8,546千円(9,682千円)

- ・口腔の健康を通じて市民の健康寿命の延伸を目指し、歯科健診や普及啓発事業等を実施
- ・令和6年度は、歯周病の早期発見・治療により、口腔と全身の健康維持・増進を目的に、成人を対象とする歯周病検診を新たに実施  
(対象年齢：40、50、60、70歳)

② 〔国民健康保険事業〕特定健康診査等事業費 71,973千円(86,871千円)

- ・国保加入者に対し、生活習慣病の早期発見・改善のため、特定健康診査及びICTを活用した特定保健指導を実施するとともに、受診費用の自己負担無料化やQ.U.Oカードを景品としたキャンペーン等による受診率向上対策を実施

③ ふれあいパス事業費 195,913千円(195,936千円)

- ・70歳以上の市民に対し「ふれあいパス」(バス又は鉄道の利用助成)を交付

④ 総連合町会補助金 15,089千円(15,126千円)

- ・地域コミュニティの要となる町会の安定的な運営と住みよい地域づくりのために、積極的に活動を行う町会に対する支援を強化
- ・令和6年度はデジタル化の推進や防災活動等に対する支援を実施

⑤ 街路防犯灯設置費補助金 631千円(1,000千円)

- ・街路防犯灯の新設及び既存街路灯具の改良・更新に要する費用の一部を補助

◎⑥ おもてなし規格認証事業費 549千円(983千円)

- ・市民サービスの向上や市役所のイメージアップを図るため、おもてなし向上に関する職員向けセミナー等を実施し、小樽市役所として自治体初の「おもてなし規格認証」を取得

◎⑦ 商店街公的利便施設整備支援事業費 2,000千円(2,000千円)

- ・商店街振興組合が所有するアーケードなどの公的利便施設について、改修、する費用の一部を助成

◎⑧ 公営住宅建替事業費 109,252千円(143,924千円)

- ・耐用年数を超過した住戸の解消や、集約化による適正な供給管理戸数の設定を図るため、計画的な市営住宅の建替を実施  
令和6年度 新光F住宅 敷地測量、塩谷B住宅 敷地造成

☆⑨ 地域公共交通活性化事業費 1,355千円(2,600千円)

- ・持続可能な地域公共交通の確保・維持に向けた検討・協議を進める小樽市地域公共交通活性化協議会の開催や利用促進策を実施
- ・令和6年度は、バス一日乗車券の割引販売など、利用促進事業の取組を強化

⑩ 生活バス路線運行費補助金 40,400千円(49,000千円)

- ・市民の生活に必要なバス路線の維持及び確保を図るため、国の補助金で補填しきれないバス事業者の収支不足額を補填

⑪ 各種予防接種費 349,425千円(551,635千円)

- ・令和6年度は、新型コロナウイルスワクチンの定期接種化に伴い、接種費用を増額

## ＜主な物価高騰対応重点支援＞

エネルギー・食料品価格等の物価高騰の影響を受けた生活者や事業者に対し、地方公共団体が地域の実情に合わせて、必要な支援をきめ細やかに実施できるよう国の補正予算、予備費で措置された「物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金」を以下の事業に活用

【金額は交付金充当額、括弧内[]の金額は事業費】

1,968,837千円[1,820,820千円]

(令和7年度への繰越分を除く)

・公共交通事業者等支援事業費 22,420千円[22,420千円]

・緊急生活支援給付金給付事業費（住民税非課税世帯分）  
322,393千円[85,029千円]

(交付金充当額は前年度清算交付金分を含む)

・緊急生活支援給付金給付事業費（こども加算分） 81,181千円[81,181千円]

・物価高騰対策支援給付金給付事業費 259,421千円[259,421千円]

・障害福祉施設電力・ガス・食料品等価格高騰重点支援事業費  
14,068千円[14,068千円]

・介護保険施設電力・ガス・食料品等価格高騰重点支援事業費  
28,312千円[37,848千円]

・保育施設等物価高騰対策支援事業費 12,337千円[12,337千円]

・公衆浴場・クリーニング業支援金給付事業費 13,505千円[13,505千円]

・医療機関エネルギー価格高騰支援金給付事業費 51,376千円[51,376千円]

・一般廃棄物収集運搬事業者等支援金給付事業費 5,144千円[5,144千円]

・貨物自動車運送事業者支援事業費 25,129千円[25,129千円]

・高圧電気料金高騰対策支援事業費 35,704千円[38,167千円]

・街路防犯灯LED改良費支援金給付事業費 1,665千円[1,665千円]

・学校給食費保護者負担軽減事業費＜再掲＞ 67,744千円[75,000千円]

・令和6年度新規非課税世帯等支援給付金給付事業費  
226,306千円[251,225千円]

・定額減税調整給付金給付事業費 798,808千円[843,981千円]

・住民税非課税世帯支援給付金給付事業費 3,324千円[3,324千円]

## ＜新型コロナウイルス感染症対策関連事業＞

新型コロナウイルス感染症対策として、令和5年度から繰り越して下記の事業を実施

【括弧内の金額は予算現額】

27,393千円（147,279千円）

・新型コロナウイルスワクチン接種体制確保事業費 4,824千円（22,865千円）

・新型コロナウイルスワクチン接種事業費 22,569千円（124,414千円）